

日医ニュース

2024. 10. 5 No. 1512

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.info@po.med.or.jp
https://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



- トピックス**
- 定例記者会見 … 2面
 - 日医かかりつけ医機能研修制度令和6年度応用研修会(第1回) …… 3面
 - 令和6年医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果を公表 …… 4面

北里柴三郎先生が肖像画に採用された 新千円札発行を記念してシンポジウムを開催



松本会長

冒頭あいさつした松本

本シンポジウムは新千円札の肖像画となった北里先生の功績を振り返る中で、日本医師会の果たしている役割を知ってもらうとともに、コロナ禍を踏まえ、今後、いつ起きるか分からない新興感染症に備えて何が必要なのかを共に考えることを目的として、開催したものである。



北川日本医学学会副会長

引き続きあいさつした北川雄光日本医学学会副会長／慶應義塾常任理事は、コロナ禍において慶

吉郎会長は北里先生が新千円札の肖像画に採用されたことについて、「野口英世先生に続き肖像画に医師が選ばれたことは、医療が社会にとって欠かせないものであることの裏付けである」と強調。



対談「北里柴三郎の功績と日本医師会の果たす役割」

日本医師会シンポジウム「受け継がれる北里柴三郎の志～新千円札発行を記念して～」を9月15日、日本医師会館大講堂で開催した。当日は、1,100名を超える応募者の中から抽選により当選した約500名の参加者が会場に集い、北里先生の偉大さを改めて実感するとともに、日本医師会の果たしている役割や生活の中で必要とされる感染対策、感染症と日本人の戦いの歴史などを学んだ。

引続きあいさつした北川雄光日本医学学会副会長／慶應義塾常任理事は、コロナ禍において慶

今後も北里先生のスピリッツを受け継ぎ、「人生100年時代」に向けて、治療を中心とした医療のみならず、「予防・健康づくり」にも重点を置き、健康長寿社会の実現に尽力していく考えを示した。



釜淵副会長

釜淵副会長は、「北里先生が100年も前から予防医学の重要性を提唱していたことに頭が下が

対談の中で北里館長は、(1)当初、北里先生は医師になるつもりはなかったこと、(2)オランダ軍医のマンズフェルト先生や福沢諭吉先生との出会い、(3)北里研究所の立ち上げ、(4)日本の猫ブームの先駆けをつつた話、(5)日本医師会の設立―などを、エピソードを交えながら説明。



北里館長

思う」と述べた。その後は、まず、北里先生のひ孫である北里英郎北里柴三郎記念館館長と釜淵副会長による対談が行われた。

と共に取り組むことができるとは大変うれしく

「基礎・臨床一体となって対応したことを紹介。「北里先生の業績を本日お集まりの皆さんと共に取り組むことができるとは大変うれしく

「100年時代」に向けて、治療を中心とした医療のみならず、「予防・健康づくり」にも重点を置き、健康長寿社会の実現に尽力していく考えを示した。

「受け継がれる北里柴三郎の志～新千円札発行を記念して～」の模様は、後日に採録を朝日新聞全国版に、動画を日本医師会公式YouTubeチャンネルにそれぞれ掲載する予定となっています。

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師



本郷教授

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

「国民の生命と健康を守る」「医師

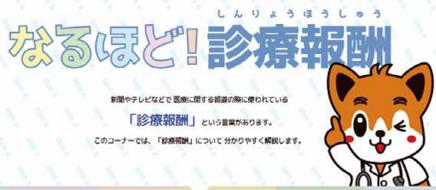
「国民の生命と健康を守る」「医師



お知らせ

今回行われたシンポジウム「受け継がれる北里柴三郎の志～新千円札発行を記念して～」の模様は、後日に採録を朝日新聞全国版に、動画を日本医師会公式YouTubeチャンネルにそれぞれ掲載する予定となっています。ぜひ、ご覧下さい。

日本医師会ホームページ掲載「なるほど！診療報酬」をリニューアル



日本医師会はこのほど、ホームページに掲載している「なるほど！診療報酬」のコーナーのリニューアルを行いました。

本コーナーは、「診療報酬＝医師だけの収入」と誤解している国民もいることから、「診療報酬」について正しく理解してもらうことを目的として掲載しているものです。

その内容は、『「診療報酬」とは？』『診療行為ごとに公定価格【点数】が決められている』『点数はどうやって決まっているの？』『「診療報酬」は医師だけの収入？』『必要かつ適切な「診療報酬」の確保が不可欠！』で構成されており、今回のリニューアルでは新たに「令和6年度診療報酬改定について」を追加。その中では、令和6年度診療報酬改定に当たっての日本医師会の主張や主な改定内容等を盛り込んでいます。

必要かつ適切な「診療報酬」を確保するためには国民の理解は必要不可欠なものとなっています。本コーナーでは「診療報酬」について分かりやすく説明していますので、ぜひ、ご活用頂ければ幸いです。



日本医師会

定例記者会見

9月18日

ベースアップ評価料の届出・算定を改めて呼び掛ける

呼び掛ける



日本医師会の取り組みと併せて説明を行った。同常任理事は、まず、令和6年度診療報酬改定において、職員の賃上げの原資となるベースアップ評価料が創設された経緯や目的を改めて説明し、「人材確保は、医療の質と安全の確保、地域医療提供の継続のために必要であり、日本医師会

としては、できるだけ多くの医療機関でベースアップ評価料を届出・算定をして、ぜひ活用して頂きたいと考えている」と強調。一方で、「届出様式が複雑で届出が難しい」という意見が多かったことから、日本医師会として説明会の開催などを通じて分かりやすい解説を行うとともに、届出の負担を減らすための対応を厚労省と相談してきた結果、今回の簡素化が行われたとした。

続いて、これまで日本医師会が取り組んできた後、後にも精神的に支援活動を

具体的な対応として、(一)厚労省と共に「診療報酬オンラインセミナー」を開催、(二)日本医師会ホームページ(メンバーズルーム)に「ベースアップ評価料の届出について」の特設ページを開設、(三)都道府県医師会、社会保険担当理事連絡協議会を厚労省との共催により開催、(四)スタッフの数が限られている診療所の届出を支援するため、最もシリアルな届出例(賃金改善計画書)を解説するスライド(音声付き)を日本医師会ホームページ(メンバーズルーム)に公表し、したことを挙げるとともに、今後

も精神的に支援活動を

行っていく姿勢を示し、まだ届出を行っていない医療機関については、日本医師会と厚労省のホームページを併せて確認して頂くよう呼び掛けた。次に、届出を行う医療機関の負担を軽減し、円滑な届出を可能とする観点から簡素化が行われた今回の届出様式について、主な変更点を解説した。

「賃金引き上げ計画書作成のための計算シート」についても、ベースアップ評価料(Ⅱ)を届出しない場合は、対象職員の給与総額の記載が不要になったことを紹介した。また、届出様式の改定に伴い、厚労省の「ベースアップ評価料 特設ページ」も刷新されたことに触れ、新しい届出様式に加え、初めてベースアップ評価料の届出を行う医療機関向けの資料や動画、支援ツールなどが掲載されていることを紹介した。

「医療機関の持ち出しは不要」

「多くの医療機関で届出・算定を」

全般的に記載上の説明を詳しく、分かりやすいものにした上で、賃金改善計画書関連では、(一)対象職員の基本給等に係る事項の職種グループ別の記載箇所、(二)ベースアップ評価料対象外職種の「給与総額」に関する項目が削除され、記載することを説明。前者につ

いては、プラス2.5%のベースアップは算定要件ではなく、医療機関の持ち出しは必要ないことを強調し、「安心して届出して頂きたい」と述べた。

「日本医師会として、今後も厚労省と連携して、また、都道府県医師会や各臨床医会のご協力を頂

きながら、できるだけ多くの医療機関でベースアップ評価料を届出・算定をして頂くように、取り組んでいく」と改めて決意を示した。

日本医師会

医師会会員情報システム(MAMIS)の本導入に向けて「情報セキュリティ基本方針」の改正等を実施

改正等を実施

日本医師会は9月17日に開催された令和6年度第7回理事会において、「情報セキュリティ基本方針」の改正並びに「情報セキュリティ規程」の策定を行うことを承認した。

今回の改正並びに策定は、本年10月末からの医師会会員情報システム(MAMIS)の本導入に向けて、日本医師会と

な情報セキュリティの確保及び情報資産の保護が求められることに伴い、行われたものである。

改正された基本方針は令和2年7月20日に制定したもので、今回は「1. 法令等の遵守」「2. 管理体制の確立」「3. 情報資産の管理」「4. 教育等の実施」「5. 違反及び事故への対応」の5項目に構成が見直された。

「情報セキュリティ規程」については、基本方針の内容に実効性を持たせるために策定したもので、日本医師会の情報セキュリティを確保し、情報資産を保護するための基本事項を定めたものとなっている。

なお、当日の理事会では「リスク管理規程」の改正についても承認された。

主な改正点としては、新型コロナウイルス感染症の流行等も踏まえ、「緊急事態の範囲」に「新興・再興感染症」を追加するとともに、MAMISの本導入を見据え、「情報システムへの外部からの不正アクセスや機密情報の漏洩」を追加し、それぞれ対応の基本方針を定めたことが挙げられる。

施行日については、今回承認した基本方針・規程全て本年10月1日から

「情報セキュリティ規

程全て本年10月1日から

程全て本年10月1日から

程全て本年10月1日から

ベースアップ評価料算定のご検討を!!

届出様式が簡素化されました

令和6年度診療報酬改定で新設された「ベースアップ評価料」の届出様式がこのほど、簡素化されました。まだ届出をされていない医療機関は、ぜひ、この機会に算定のご検討をお願いいたします。

主な変更点

- 診療所・病院の「賃金改善計画書」のベースアップ評価料対象外職種の基本給等に係る事項で、給与総額の記載項目が削除された。
- 診療所の「賃金改善計画書」の基本給等に係る事項で、職種グループ別の記載項目が削除された。
- 外来・在宅ベースアップ評価料Ⅱを算定しない診療所の「賃金引き上げ計画書作成のための計算シート」について、届け出種別欄が削除されるとともに、届け出を行う月の記載方法も簡略化された。

*ただし、従来の様式で準備をしている場合はそのまま届け出することも可能

詳しくは厚生労働省ベースアップ評価料特設ページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00053.html) 等をご確認ください。



日医かかりつけ医機能研修制度令和6年度応用研修会（第1回）

かかりつけ医機能の 更なる充実・向上を目指して開催



らかな問題点がある場合にはまずその是正から進めるべき」とした上で、適切な運動療法の進め方についても説明した。

講義2「かかりつけ医の脂質異常症管理」では、吉田博東京慈恵会医科大学附属柏病院院長・教授が、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版」等を基に、生活習慣改善のエッセンスや令和6年度診療報酬改定への対応について解説。

同教授は、2017年版の同ガイドラインから2022年版への主な変更点を示した上で、危険因子であるトリグリセライド（中性脂肪）についての知見や、検査値・症

状に応じた治療薬の選択など、動脈硬化性疾患予防の包括的リスク管理を行うに当たって必要な知識を説明した他、生活習慣改善のために重要な、「禁煙」「飲酒」「肥満・メタボリックシンドローム対策」「食事療法」「運動療法」に関する指導のポイントを示した。

また、令和6年度診療報酬改定を踏まえ、「生活習慣病管理料」を算定するに当たって、脂質異常症に関する療養計画書の具体的な書き方を詳説した他、治療管理における、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、管理栄養士等の多職種連携の重要性も強調した。

つけ医機能を発揮することがますます期待されること述べ、地域で活躍しているかかりつけ医が患者や地域医療に貢献し続けられるよう、本研修制度の更なる充実を図っていく姿勢を示した。

講義1「かかりつけ医の糖尿病管理」では、鈴木木亮東京医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科学分野主任教授が、2型糖尿病の治療並びに療養計画書作成に当たって必要な知識を解説。

冒頭あいさつした松本吉郎会長は、「かかりつけ医は地域の医療・介護・福祉を支える要の役割として、今後もかかり

かに評価して適切に治療することは、糖尿病の無い人と変わらない寿命とQOLを達成する上で極めて重要」と強調した。

目録体重・目標HbA1cの設定については、『糖尿病診療ガイドライン2024』等を基に、肥満・肥満症の診断、治療プランの立て方について説明し、「患者と一緒に達成可能な目標を、期限を決めて、患者自身が主体的に決めた目標だと思えるように対話することが理想的だ」と述べた他、療養計画書の書き方も示した。

同教授は、まず、糖尿病の基礎知識及び診断までの流れ・注意点を説明し、「糖尿病を早期発見し、合併症の状態を速やかに

重要な要素であり、咀嚼能力と健康寿命には大きな関係があると指摘。「8020運動」で多くの歯を有した高齢者が増加した一方で、歯があっても食事が摂れない高齢者も増加しているとして、その改善の必要性を強調した。

また、今回の診療報酬改定において、生活習慣病管理料の算定要件として、糖尿病のある人には歯科への受診勧奨を行うことが追加されたことを紹介した他、入院（所）中及び在宅等において療養中の患者に対する口腔の健康状態を確認する時に基本となる考え方と、かかりつけ医が口腔に関して指導する際のポイントを示した。

講義3「栄養や口腔におけるかかりつけ医との連携」では、西岡心大長崎リハビリテーション病院栄養管理室長が、地域包括ケアにおける栄養ケアのあり方を示した上で、医療、介護における栄養とかかりつけ医の連携について解説した。

同室長は、まず、高齢者や入院患者における低栄養の現状を概説し、リハビリ・栄養管理・口腔管理の三要素を一体的に実施する重要性を指摘。どれか一要素でも問題が生じた場合は、他の二要素も評価することが望まれるとした。

また、令和6年度診療報酬改定で低栄養の判断

の重要な要素であり、咀嚼能力と健康寿命には大きな関係があると指摘。「8020運動」で多くの歯を有した高齢者が増加した一方で、歯があっても食事が摂れない高齢者も増加しているとして、その改善の必要性を強調した。

また、今回の診療報酬改定において、生活習慣病管理料の算定要件として、糖尿病のある人には歯科への受診勧奨を行うことが追加されたことを紹介した他、入院（所）中及び在宅等において療養中の患者に対する口腔の健康状態を確認する時に基本となる考え方と、かかりつけ医が口腔に関して指導する際のポイントを示した。

講義4「リハビリテーションにおける医療と介護の連携」では、三上幸夫広島大学病院リハビリテーション科教授が、リハビリテーション実施計画書の記入方法について解説。「ICF（国際生活機能分類）とICD（国際疾病分類）」に基づいたリハビリテーション実施計画書の作成、定期的なカンファレンスでの再評価等、PDC Aサイクルを回すことで治療目標を回すことが肝要になる」と述べた。

また、医療と介護の連携の実態と課題については、医療保険と介護保険の連携について解説した。

また、令和6年度診療報酬改定で低栄養の判断

度診療報酬・介護報酬改定において情報連携や退院前カンファレンスへの参加が推進されるようになったことに触れた上で、医療と介護の連携に当たっては医療には生活の視点が、介護には医療の視点がそれぞれ求められると強調した。

講義5「認知症の方への意思決定支援とプライマリケア」では、田中志子内田病院理事長・院長が、認知症の方が自らの意思に基づいて生活できるよう支援することの重要性について説明。具体的な取り組みとして、「身体拘束をしない介護」「環境調整の工夫」「就労的活動の提供」「地域交流の促進」などを紹介するとともに、「認知症患者の生活歴を知ること、不愉快な態度や言葉遣いを避けることができる」と述べた。

その上で、生活歴についてはこちらが「医者が一番詳しく、」どんな仕事をしているか、「どんな家族に支えられてきたか」「通えなくなった時に誰が一番支援をしたか」といった情報を、ケアマネジャーや介護施設に共有し、ボタンタッチして欲しいと要望した。

最後に釜淵敏副会長が閉会のあいさつを行い、研修会は終了した。

なお、日本医師会では本研修会と同様の内容の研修会を10月6日、11月4日にもWEBにより開催する予定としている。

また、令和6年度診療報酬改定で低栄養の判断

令和6年医師会立 助産師・看護師・准看護師学校養成所

調査結果を公表

日本医師会はこのたび毎年実施している「医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査」の令和6年の調査結果を公表した。その主な概要は、以下のとおりとなっている。

【入学状況】

准看護師課程の応募者数をみると、平成31年度では9557人だったものが、今年度は3765人と4割の水準にまで激減した。入学者は3007人であり、非常に厳しい状況にある。

【卒業後の進路】

准看護師課程では、設立母体の医師会管内の医療機関に就業した者が2%が地域医療に従事している。

【まとめ】

昨年引き続き定員充足率は低下し、状況は一段と悪化している。特に准看護師課程や看護師2年課程では学校運営の分水嶺に立っており、このまま養成所の閉校が続けば、地域の医療・介護提供に影響を与える恐れがある。

日医総研だより

デンマークにおける医療DX

今年度募集を行った学校は准看護師課程127校、看護師2年課程53校、看護師3年課程74校、助産師課程4校であった。一方、募集を停止した学校は准看護師課程10校、看護師2年課程6校となっている。

その他、課程変更で看護師3年課程が2校開設されている。

定員充足率はいずれの課程も大きく低下し、准看護師課程では平均55.2%と近年で最も低い結果となった。90%以上の充足率を満たしているのは127校中15校のみで、ほとんどの学校で定員割れという非常に深刻な状況にある。

また、看護師2年課程も定員充足率は平均66%

デンマークはライフサイエンスを国策として最も重要産業と位置付け、政府全体での計画を立て、多額の政府予算を付けています。

デンマークの輸出品の22%がライフサイエンス関連の製品で、日本への輸出では42%がライフサイエンス関連となっている。

診療情報の電子化と二次利用の促進政策も相まって、人口当たり臨床治験数も欧州1位になり、製薬メーカーの発展の助となり、国民資産の向上に貢献しているとのこと。

医療情報のデジタル化について国連が世界電子政府ランキングを発表していますが、デンマークは3回連続で1位となっています。政府の電子化が最も進んだ国と言えます。

国や都道府県には、看護の魅力や生涯にわたって活躍できる職業であることを積極的にPRするとともに、看護職の処遇改善に向けた対応を引き続き求めていきたい。

また、経済的に困窮している場合でも資格が取得できるよう、奨学金等の充実なども含め、人口減少社会における看護人材の確保に危機感をもって対応するよう今後も求めていく。

デンマークでは、日本のマイナンバーと同様の CPR (Central Persons Registration) ナンバーが1968年から導入され、納税、金融資産管理、診療情報などに CPR ナンバーが使用されています。

診療情報の管理については S M R (Shared Medication Record) という電子処方箋発行システムから始まり、徐々に扱う情報の範囲が広がってきました。現状では共有化されている診療情報が、病名、医師の指導内容、処方薬剤、検査結果、画像などの日々の診療に必要な情報群と、治療結果、処方履歴、死因、バイオバンク情報などの二次利用に利用される情報群の2系統に分けられています。

この方法は欧州諸国では一般的な方法のようです。患者自身も自己の診療情報をスマートフォンなどで閲覧することが可能であり、自分が使用している薬剤を確認し、医師からの指導なども常に関連することができ、治療の一助になります。

患者のためにもなる G D (General Practitioner) の意見は印象的でした。

将来の医療は今までと対面診療と、デジタル技術を利用した治療の融合が求められるのだと思います。日本においても、マイナ保険証の推進や医療DXが進められていますが、この潮流は世界的なものであることを我々もしっかり認識する必要があります。

(日医総研副所長 原 祐一)

お願い

日本医師会のLINE公式アカウントへのお友だち登録をお願いします。



お友だち登録はこちらから



南から北から

新潟県
新潟市医師会報
NO.631より
「猫も……なのだ」
二つの小話
大滝 一



「猫舌」という言葉があるように、猫はお湯が飲めないというのが猫に対する私達人間の通念かと思えます。しかし猫はお湯を飲むのです。うちの猫だけではないと思えますが、猫を飼っておられる皆さんいかがでしょうか。

最初にお湯を飲むようになったのが、今いる3匹の中で一番若い大ちゃんです。家内が入浴中に浴槽の縁に手(前足)を掛け、浴槽のお湯を飲み始めたのがこのことです。それからしばらくして、朝に食事をあげる時に、浴室前で「ニャー、ニャー」と何かを催促するので、まさかお湯じゃないだろうと思いつつも皿にお湯をあげたら、何とおいしそうに飲み始めました。ただ、お湯と言っても30〜35度くらいのぬるま湯です。今は、朝にお湯をあげるのが私の日課で、最初は赤ちゃんだけでしたがその後他の2匹も飲むようになり、すべてに水があるにもかかわらず、

が17歳の文ちゃん、人間にすると70代後半から80歳くらいでしょうか、その文ちゃんがこのころテレビ鑑賞にはまっていました。鳥や魚は納得がいきませんが、文ちゃんは天気予報、ニュース、クイズ番組などジャンルにこだわらず、テレビの前でどしどしと腰を据え典型的な猫背姿勢で真剣にテレビを見ていたのです。それも5分や10分ではありませんが、なぜなのか聞いてみました。やはり答えてみましたが、やはり答えて「ニャー」で、真意はこちらも不明でした。老後の楽しみを見つけたのでしょうか。

猫は時々テレビを見ます。例えば鳥や魚が出てきました。今までは6匹の猫を飼ってききましたが3匹はそうでした。ところどころ、ネットニュースを眺めていると、不用品をフリマアプリで売るといった記事が目についた。不要品ではなく、不用品である。自分が使わないけど、まだまだ使用できる不要品を売るといふのは分かる話である。しかしながら、不用品、つまりは物としても使えない、いわゆるゴミともいえる不用品が売れるらしい。どんなもの

広島県
広島県医師会速報
第2589号より
不用品工作
谷 充理



かと言うと、牛乳瓶の紙かぶたやトイレトーパーの芯などが一例だ。何でそんなものが、使わなくてもいいが、使いたい。子どもの工作の材料にするのだ。わが家には男の子が3人いるが、確かに小学生まではよく工作をして遊んでいるし、その手伝いもさせられる。材料として、トイレトーパー

だけじゃなく、ラップの芯、段ボール、空き缶、ペットボトルなどもよく使用する。段ボールなどは、工作の必須アイテムなので、わが家では捨てるに当たっては、おいた段ボールはいつの間にかロケットや電車、バスなどに変身し、家のあちこちに置かれていた。箱状ではなく、切った段ボールの切れ端も、子どものお気に入りの絵本の表紙をコピーして貼り付け、ハサミで切り分けることで、オリジナルパスルに早変わりだ。

この前など、三男が某見た目は子ども、頭脳は大人、な少年探偵が使用しているスケボーに乗りたいと言いつつ、おもち屋にスケボーを買いに行くと、スケボーは危険すぎる。これは不用品工作の出番と考え、段ボールをスケボーの板の形に切る。段ボールでは上に乗ると折れ曲がるので、その裏に金属製のお菓子のふたを貼り付け、体重に耐えられるように補強。タイヤの代わりにラップの芯を前後に貼り付け、板代わりの段ボールにお気に入りのイラストを書かせれば、安全なオリジナルスケボーの出上がりである。

難点は当然ながら、乗っても動かない。そのため、子どもごとスケボーを持ち上げて、某少年探偵のテーマソングを歌いながら、自分が走り回らないといけないことである。安全ではあるが、非常に疲れる代物だ。しかも、日に何度も乗らなければならない。そんな時に、フリマアプリで安い値段で材料が多量に手に入るなら、購入するのも手と考えるらしい。しかし、やはり不用品をお金を出して買うのももったいないので、わが家では工作の材料になりそうな不用品は今しばらく、貯蓄しておくことにする。(一部省略)

都会に住んでいると、いろいろな機会で見かける。芸能人を見掛ける。かつて昔、東京にいた時は、地下鉄銀座線の中で、目の前の席に腰掛けたのは、筑紫哲也だった。スーツでなく革ジャンを着ていたが、フサフサしたあの髪の毛は間違えようもない。広尾のレストランで隣のテーブルでちょうど会食していたのは、山城新伍と梅宮辰夫一行だった。よく飲みよく食べた。そんな息の詰まるような生活をしていて、休みくらいは奴隷生活。活を忘れて華やかな世界を求めたくなるものである。ある週末の土曜日、朝早くから一人バスで、ニューヨーク・マンハッタンへと向かった。やっぱりマンハッタンは活気がすごい。人種のるつぼだ。世界中からの観光客でにぎわい、いろいろな国の言葉が飛び交う。当然、日本語もたくさん聞かされた。私には、向かいのテーブルに、女性はこちらを向いて座った。サングラスを掛け、落ちていた高級そうな服で、背筋がピンと伸びていた。周りの男は付き人、いかにも「日本人にはなじみの薄い街で、もちろん日本の芸能人を見掛けることもない。日本の観光客らしい街で生活をしていない。そこは奴隷のような研修医生活ではあったが、4週間に一回だけは、土日か休みという週末があった。そんな息の詰まるような生活をしていて、休みくらいは奴隷生活を求めている。これを絶対宮沢りえだ」と、確信した。

「これは絶対宮沢りえだ」と、確信した。これは絶対宮沢りえだ。ドキドキしながら、その芸能人をチラッと見ると、サングラス越しに目が合った。向こうも笑みを見せているように見える。私の脈拍は心室細動並みに速くなっていた。久しぶりの日本食も、何を食べたかすら分らない程であった。思い切ってサインをせがむかどうか迷った。「他の客もいないし、異国の地だからサインくらいしてくれませんか」。しかし、紙もペンも持っていない。「ソニー」。結局、ラーメンを食べ切り、後ろ髪を引かれながらも、仕方なく会計へと立ち上がった。会計の所は、テーブルから少し離れた。恥ずかしながら小声で、店のお姉ちゃんに聞いてみた。「あの人、宮沢りえさんですか?」店のお姉ちゃんはクスッと笑って教えてくれた。「森光さんです!!!」私は開いた口が塞がらないうちに、顔から火が出る思いであった。当時、宮沢りえは24歳。かたや、森光子は喜寿で77歳であった。もともと人を識別する能力に欠けてはいる私ではあった。そして、しばらく日本人を見ていないというせいもあったかも知れない。しかし、そのままで見間違えるとは……。がっかりで恥ずかしい一日になってしまった。それにしても、芸能人の若さを保つ能力は「凄い」と、つくづく思ったものだった。(一部省略)

大分県
別府市医師会報
通巻第214号より
ニューヨークでの幻
古田 栄一



さて、これも昔で30年前のこと、私は米国東部のフィラデルフィアという街で、過酷な研修医生活をやっていて、日本人にはなじみの薄い街で、もちろん日本の芸能人を見掛けることもない。日本の観光客らしい街で生活をしていない。そこは奴隷のような研修医生活ではあったが、4週間に一回だけは、土日か休みという週末があった。そんな息の詰まるような生活をしていて、休みくらいは奴隷生活を求めている。これを絶対宮沢りえだ」と、確信した。

「これは絶対宮沢りえだ」と、確信した。これは絶対宮沢りえだ。ドキドキしながら、その芸能人をチラッと見ると、サングラス越しに目が合った。向こうも笑みを見せているように見える。私の脈拍は心室細動並みに速くなっていた。久しぶりの日本食も、何を食べたかすら分らない程であった。思い切ってサインをせがむかどうか迷った。「他の客もいないし、異国の地だからサインくらいしてくれませんか」。しかし、紙もペンも持っていない。「ソニー」。結局、ラーメンを食べ切り、後ろ髪を引かれながらも、仕方なく会計へと立ち上がった。会計の所は、テーブルから少し離れた。恥ずかしながら小声で、店のお姉ちゃんに聞いてみた。「あの人、宮沢りえさんですか?」店のお姉ちゃんはクスッと笑って教えてくれた。「森光さんです!!!」私は開いた口が塞がらないうちに、顔から火が出る思いであった。当時、宮沢りえは24歳。かたや、森光子は喜寿で77歳であった。もともと人を識別する能力に欠けてはいる私ではあった。そして、しばらく日本人を見ていないというせいもあったかも知れない。しかし、そのままで見間違えるとは……。がっかりで恥ずかしい一日になってしまった。それにしても、芸能人の若さを保つ能力は「凄い」と、つくづく思ったものだった。(一部省略)

たのか、向こうも笑みを見せているように見える。私の脈拍は心室細動並みに速くなっていた。久しぶりの日本食も、何を食べたかすら分らない程であった。思い切ってサインをせがむかどうか迷った。「他の客もいないし、異国の地だからサインくらいしてくれませんか」。しかし、紙もペンも持っていない。「ソニー」。結局、ラーメンを食べ切り、後ろ髪を引かれながらも、仕方なく会計へと立ち上がった。会計の所は、テーブルから少し離れた。恥ずかしながら小声で、店のお姉ちゃんに聞いてみた。「あの人、宮沢りえさんですか?」店のお姉ちゃんはクスッと笑って教えてくれた。「森光さんです!!!」私は開いた口が塞がらないうちに、顔から火が出る思いであった。当時、宮沢りえは24歳。かたや、森光子は喜寿で77歳であった。もともと人を識別する能力に欠けてはいる私ではあった。そして、しばらく日本人を見ていないというせいもあったかも知れない。しかし、そのままで見間違えるとは……。がっかりで恥ずかしい一日になってしまった。それにしても、芸能人の若さを保つ能力は「凄い」と、つくづく思ったものだった。(一部省略)



日本医師会キャラクター 日医君公式グッズ 販売中!

ご購入はコチラから
<https://bit.ly/3J5M2H8>

日本臨床分科医会代表者会議 所属医会の活動⑤

※活動の詳細は各会のホームページをご覧ください。

日本臨床脳神経外科協会

日本臨床脳神経外科協会は、1998年（平成10年）に設立されました。他の基本診療科に比較すると設立は遅いと言えます。私的病院での脳神経外科医療の発展を眼目として創設された本会は、私的病院では協会組織を構築する会員の数が少ないために創設に時間が掛かったのです。他の医会と同様に医学、社会の変化と共に生じる種々の課題の解決以外に、脳神経外科特有の課題の解決が求められています。従って、今回の日本医師会から依頼のあった当会の紹介内容は以上の課題を含んだものになります。

①現在最も力を入れていること：

1. 診療報酬の健全な状態を保つべく、親学会の日本脳神経外科学会と共に外科系学会社会保険委員会連合（外保連）を通じて積極的に活動しています。
2. 毎年学術集会を開催して、脳神経外科に係る科学的課題、社会的課題すなわち、脳神経外科学の進歩の普及、安全性の知識の普及を行っています。更に脳神経外科医療を取り囲む脳神経外科医とメディカルスタッフとの連携、懇親を多くの時間と場を通じて施行しています。

②協会が抱えている課題：

本会の規定上、会の運営（理事会）会員は病院経営者、管理者ですが、この20年で診療所として私的医院を開業した日本脳神経外科学会会員が大きく増加しましたので、会則の変更を通して協会の方向性を模索しています。

③日本医師会の先生方をお願いしたいこと：

学会や医会等では組織が小さいために解決策の策定が困難な課題について、先見的な意見を策定し、国家に具申して頂きたいと考えています。すなわち、診療報酬の具体的な課題等だけではなく、経済財政諮問会議等での医療に関するそもそもの論議に参画し、日本の医療の根本的な方向性を決定して頂きたいと思っています。



日本臨床内科医会

日本臨床内科医会は、内科系医師が安定した財務基盤を築き得る適正な診療報酬を獲得すること、実地医療に直接的に役立つ総合的あるいは専門的な知識を共有すること、更に実地医家によってこそ成し得る臨床研究やその発表の場を提供することを目的に、全国の内科医会を統合して1985年に設立されました。

内科系学会社会保険連合（内保連）では、当会の代表が顧問や委員長として参画し、診療報酬改定に際して重要な意見を発信しています。これは、他科出身者も含め内科診療に従事する全ての医師にとって、極めて重要かつ有益な活動だと考えています。

また、「臨床内科学」をテーマとする学術活動の一環として、春の総合学術集会と秋の医学会を毎年開催しており、多くの会員が参加し、情報共有や研究発表が盛んに行われています。

2021年からは、かかりつけ医のためのWEB講座を毎月開催していますが、これは各分野の専門医でかつ実地かかりつけ医としても活動する当会学術部専門委員が講師となり、日常診療に直結する情報を分かりやすく解説する講演会です。医師であればどなたでも無料で聴講でき、日本医師会の生涯教育単位を取得できます。

その他、年5回会誌を発行（第3号は医学会抄録集）し、臨床研究や症例報告などの論文投稿を受け付けています。また、日常診療をテーマとする「座談会」や「処方のコツとさじ加減」は特に好評で、各専門領域における「診療のコツ」の連載も始まります。

更に、ACP（Advance Care Planning）活動や子宮頸がん予防のワクチン接種の推進にも注力しています。20年以上継続されているインフルエンザ研究は、国内外で高い評価を受けています。当会が質を担保した日臨内専門医の育成にも力を入れています。

実地内科医の生活の基盤となる当会の活動は、他科出身者も含め、広く現在内科診療に従事している医師、今後内科開業を考えている医師、また産業医にとってもお役に立つものと信じております。多くの日本医師会会員のご参加を期待してやみません。



案内



日医かかりつけ医機能研修制度 令和6年度応用研修会第3回 (Web講習会)

◆主催：日本医師会
◆日時：11月4日(月)・
振休)

◆受講形式：「日本医師会Web研修システム(以下、Webシステム)」によるライブ配信
◆受講対象者：「日医かかりつけ医機能研修制度」の修了申請を希望する医師及びかかりつけ医となる全ての医師(診療科や主たる診療の場は問いません)。

◆受講料：医師会員(都市区等医師会に所属)無料、医師会非会員(都市区等医師会未加入)10000円(税込)
◆受講人数：2000名(先着順)
◆主なプログラム：
・「かかりつけ医の糖尿病管理」(鈴木亮東京医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科学分野主任教授)

・「かかりつけ医の脂質異常症管理」(吉田博東京慈恵会医科大学附属柏病院長・教授)
・「栄養や口腔におけるかかりつけ医との連携」(西岡心大長崎リハビリテーション病院栄養管理室長、渡邊裕北海道大学大学院歯学研究院口腔健康

康科学分野高齢者歯科学教室准教授)
・「リハビリテーションにおける医療と介護の連携」(三上幸夫広島大学病院リハビリテーション科教授)
・「認知症の方への意思決定支援とプライマリケア」(田中志子内田病院理事長・院長)
・「かかりつけ医の高血圧症管理」(大屋祐輔琉球大学病院院長)

受講証明書は、受講日の約2週間後よりWebシステムからダウンロードできます(受講証明の郵送はいたしません)。
◆申込方法：個別のお申し込みになります。受講申し込み開始日の午後2時から、Webシステム上の募集で申込者が1000名に達した場合、Seminar.med.or.jp)からご希望の研修会を検索して、「講習会詳細」へ進

み、スケジュール及び受講方法等の詳細をご確認の上、お申し込み下さい。◆受講申込期間：10月10日(木)午後2時～28日(月)午前12時
※申込開始日の午後2時し込みになります。受講申し込み期間に、Webシステム上の募集で申込者が1000名に達した場合、Seminar.med.or.jp)からご希望の研修会を検索して、「講習会詳細」へ進

2024年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」

日本医師会と(公財) センターが共催している日本産業廃棄物処理振興「医療関係機関等を対象

り1000名分の応募受付が再び可能になりますのでご注意ください。
◆お問い合わせ先：
①Web研修システム(お申し込みやログイン、視聴など)に関する内容：日本医師会Web研修システムコールセンター「0570-0000-102(ナビダイヤル)②日医かかりつけ医機能

にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」を、今年度も昨年度に引き続き、事前にWEBで講義ビデオを視聴して受講し、会場で試験を受ける2段階形式で実施することになりました。

◆主催：日本医師会、オクトプシー・イメージング学会、日本診療放射線技師会
◆共催：日本医学放射線学会、日本救急医学会
◆後援：日本医学会、日本病理学会、日本法医学

令和6年度 死亡時画像診断(AI)研修会

◆開催場所・定員：別表参照
◆申込方法：日本産業廃棄物処理振興センターのホームページより、お申し込み願います。
◆お問い合わせ先：日本医師会地域医療課(03-3942-6137(直))
※今回の講習会は昨年度に引き続きまして対面の講義形式ではなく、講義動画を各自で視聴する形式で行うため、日本医師会生涯教育制度の単位を付与できる要件を満たしておらず、単位付与はごさいません。あらかじめご了承下さい。

◆受講料：13200円(税込みテキスト代含む)
◆修了証：カリキュラムを全て受講し、修了要件を満たした場合、視聴期間中に修了証(PDFファイル)をダウンロード頂けます。

開催地	開催日	開始時間	会場	定員
大阪	2024年11月8日(金)	13:40	天満研修センター	150人
愛知	12月4日(水)	10:00	名古屋サンスカイルーム	150人
東京	12月13日(金)	13:40	ベルサール西新宿	150人
東京	2025年2月13日(木)	13:40	ベルサール西新宿	150人
福岡	2月19日(水)	10:00	(公財)福岡県中小企業振興センター	150人
北海道	2月28日(金)	13:40	北海道経済センター	75人

開催日程・試験会場

◆主催：日本医師会、オクトプシー・イメージング学会、日本診療放射線技師会
◆共催：日本医学放射線学会、日本救急医学会
◆後援：日本医学会、日本病理学会、日本法医学
◆研修方法：e-Learning形式(受講者専用サイトより、講義動画をご視聴頂き、確認テストを実施します)
◆視聴可能期間：11月11日(月)午前11時から令和7年2月3日(月)午後3時まで
◆対象：医師もしくは診療放射線技師
◆定員：医師1000名

◆申込開始：10月28日(月)午前11時(定員になり次第、申し込みを締め切ります)
◆申込方法：日本医師会ホームページ「医療安全・死因究明コーナー」より、オンラインにてお申し込み願います(https://www.med.or.jp/doctor/anzen_sinai/)。
◆講演内容：

医師会会員情報システム MAMIS

2024年10月30日公開

※都道府県医師会単位でMAMIS利用開始日は異なります。

2024年9月1日時点の日本医師会会員の先生方を対象として9月中旬にMAMISログイン情報のご案内はがきをお届けしました。ご確認をお願いいたします。

詳しくは、MAMIS情報共有サイトをご覧ください。

MAMIS情報共有サイト
<https://member-sys.info/>




お問い合わせ先：医師会会員情報システム運営事務局
 inquiry@mamis.med.or.jp ☎ 0120-110-030
 受付時間：平日10:00~18:00 ※土・日・祝日を除く

死亡時画像診断(AI)における基本事項
死亡時画像診断(AI)における画像診断①(総論)
死亡時画像診断(AI)における画像診断②(小児)
死亡時画像診断(AI)における画像診断③(経時的死後変化)

死亡時画像診断(AI)における病理学
死亡時画像診断(AI)における法医学
死亡時画像診断(AI)における個人識別
死亡時画像診断(AI)における救急医学
死亡時画像診断(AI)における医療安全対策・感

【医師向け】医療事故、死亡時画像診断(AI)におけるMRIとUS
◆お問い合わせ先：日本医師会医事法・医療安全課
03-3942-6484(直)

西医院開業。
昭和55年2月から平成2年1月まで京都府医師会理事を、平成2年2月から平成8年1月まで同医師会副会長を、平成8年2月から平成13年3月まで同医師会監事をそれぞれ務めた。

その間、平成8年4月から平成10年3月まで日本医師会理事を務めた。平成12年に勲五等双光旭日章(現：旭日双光章)を受章している。



訃報
西祥太郎氏(元京都府医師会副会長)元日本医師会理事)

9月1日死去、94歳。通夜・葬儀は近親者のみにて執り行われた。氏は昭和5年生まれ。昭和31年京都大学卒業。昭和39年医療法人玄紀会を設立している。

JMA JOURNAL

JMA Journal × 日本医師会医学賞

英文誌『JMA Journal』は、日本医師会が日本医学協会との協力で発行しているオープンアクセスの総合医学雑誌です。毎年、日本医師会では医学上重要な業績を上げた会員に「日本医師会医学賞」、医学上将来性に富む研究を行っている会員に「医学研究奨励賞」を授与しておりますが、『JMA Journal』では、これらの受賞研究に関する論文を受賞された先生方にご投稿いただいております。今回は日本医師会医学賞を受賞し、『JMA Journal』に掲載された論文7編をご紹介します。



日本医師会医学賞 受賞研究より

◇Iwatsubo T. Molecular Pathogenesis and Disease-modifying Therapies of Alzheimer's Disease and Related Disorders. JMA J. 2022;5(3):307-313.

〔アルツハイマー病・認知症性疾患の分子病態と治療法に関する研究/2021年度〕

◇Katagiri M, Yamada S, Katoh M, Ko T, Ito M, Komuro I. Heart Failure Pathogenesis Elucidation and New Treatment Method Development. JMA J. 2022;5(4):399-406.

〔心不全の病態の解明と新規治療法の開発/2021年度〕

◇Kitagawa Y. Development of Individualized Minimally Invasive Therapy and Multidisciplinary Care for Gastrointestinal Cancer. JMA J. 2022;5(3):314-318.

〔消化器癌に対する個別的低侵襲治療・集学的治療法の開発/2021年度〕

◇Imanaka Y. Visualization and Improvement of the Quality, Efficiency, and Equity of the Healthcare System - Secondary Publication. JMA J. 2024;7(2):147-152.

〔「医療システムの質・経済性」の評価と向上に関する研究/2022年度〕

◇Fukuda K. Establishment and Industrialization of a New Treatment Method Using Regenerative Cardiomyocyte Transplantation for Refractory Severe Heart Failure - Secondary Publication. JMA J. 2023;6(4):388-392.

〔難治性重症心不全に対する再生心筋細胞移植による新規治療法の確立と産業化/2022年度〕

◇Date H. Living-donor Lobar Lung Transplantation - Initiation and Development - Secondary Publication. JMA J. 2024;7(2):190-194.

〔生体肺移植の導入とその普及発展/2022年度〕

◇Okabe S. Development and Application of Technology for Neural Circuit Visualization - Secondary Publication. JMA J. 2024;7(2):185-189.

〔神経回路の可視化技術の開発とその応用/2023年度〕

「JMA Journal」では、医学・医療全領域に関する論文を始め、医療政策やオピニオンなど、臨床以外の投稿も幅広く受け付けています。当面の間、論文の投稿料、掲載料、オープンアクセス料等は一切無料となっております。皆様からのご投稿をお待ちしております。



最新情報はこちら ▶ https://www.jmaj.jp
論文投稿はこちら ▶ https://mc.manuscriptcentral.com/jmaj
JMA Journal公式X ▶ https://twitter.com/JmaJournal

問い合わせ先: JMA Journal Support Office ▶ admin@jmaj.jp
日本医師会国際課 JMA ジャーナル編集室 ▶ jmaintl@po.med.or.jp



映画『はたらく細胞』鑑賞ペアチケット プレゼントキャンペーン実施中!!

—日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録・アンケートに回答すると抽選で映画鑑賞ペアチケットが当たる!—

日本医師会が後援している映画『はたらく細胞』(12月13日公開予定)は、人間の体内の細胞達を擬人化した斬新な設定で話題を集め、テレビアニメ化もされたシリーズ累計発行部数1,000万部を超える大人気同名漫画を実写映画化したもので、ある人間親子の体内世界ではたらく、映画史上最“小”の主人公——酸素を運ぶ赤血球、細菌と戦う白血球、その他無数の細胞達の活躍と、その親子を中心とする人間世界のドラマが並行して描かれた作品となっています。



前号では試写会のご案内をいたしました。このたび本映画の鑑賞ペアチケットを250組500名の方々にプレゼントすることといたしました。下記の応募方法に従い、奮ってご応募願います(ただし、ご応募はスマートフォンからのみとなりますので、ご注意ください)。

- ◆応募方法: STEP1: 日本医師会ホームページの特設サイトにアクセス STEP2: 特設サイト内にある「日本医師会LINE公式アカウント」ボタンをクリックし、日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録(登録済みの方は自動的に日本医師会LINE公式アカウントのトーク画面へ飛びます) STEP3: 日本医師会LINE公式アカウントのトーク画面下部に表示されるメニューに載っている「いますぐ応募する」赤いボタンをクリック STEP4: 簡単なアンケートに回答 STEP5: 応募完了! ※当選者には、後日、当アカウントから連絡いたします。 ※応募完了後に当アカウントをブロックまたは削除した場合には当選が無効となります。 ※チケットの転売・譲渡の行為は一切禁止となります。 ※応募は一人1回に限らせて頂きます(複数応募は無効といたします)。

◆応募締切: 2024年10月31日(木)
◆特設サイト: https://www.med.or.jp/people/info/people_info/011884.html
◆問い合わせ先: 日本医師会広報課 ☎03-3946-2121(代) 特設サイト



特設サイト

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

増口のおすすめ
基金制度では、「自由なプラン設計」として、加入後も年金の型を一部変更したり、掛金額を増額(増口)したりすることが可能です。
現在、基金の掛金については、上限額の月額6万8000円(年額では81万6000円)まで増口することが可能です。増口により将来の年金額が増える他、掛金は税制上、全額社会保険料控除の対象となりますので、現時点で、上限額まで余
裕のある加入者については、増口をご検討下さい。
特に、全国基金への移行後、年金の支給期間が一定期間に確定している「確定年金制度」の取り扱いは開始されていますが、確定年金は比較的少ない掛金額で加入できるため、旧基金時代からの加入者で、上限額までに余裕のある方については、確定年金制度を活用した増口についてもご検討下さい。
また、50歳以上59歳未



満の方であれば、確定年金Ⅱ型(年金支給期間65歳以上)に1口(月額掛金4405円、男女共通)加入した場合、課税所得2000万円のケースでは、新たに年間2万6430円が節税(概算)となります。
問い合わせは基金事務局(☎0120-700650)まで。Web上でも、資料請求や加入申し込みのお手続きができます。

日本医師会からのお知らせ

「『日医君』だより」にご登録を!



日本医師会では、日本医師会及び各地域医師会発の医師会活動に関する記事や日本医師会ホームページの最新情報などを、「『日医君』だより」として電子メールで会員や国民、マスコミ関係者に直接配信・提供しています。

配信を希望される会員の先生方は、メンバーズルーム(要アカウント)からお申し込み下さい。



問い合わせ先 記事の内容: 日本医師会広報課 TEL: 03-3942-6483(直)
登録、配信: 日本医師会情報システム課 TEL: 03-3942-6135(直)

https://www.med.or.jp/login.html

日本医師会 メンバーズルーム 検索



DAVORI 2024.9